

令和7年度 第1回 弱視教育指導者研修会 前期オンデマンド講座 報告

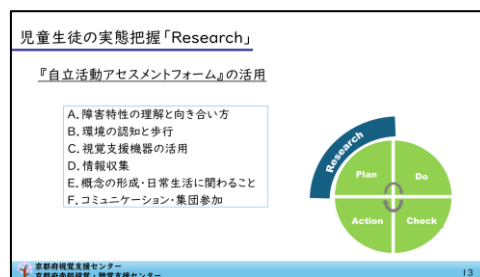
4月末から7月末までの約3カ月間、オンデマンド講座を実施しました。

見えにくさのある児童生徒に関わる地域の学校の先生方が弱視の子ども達を理解したり、支援、指導したりする上で、「明日からすぐに使える」ヒントになるよう、動画を作成し、配信を行いました。

府内全域から87名の先生方からの申込がありました。

動画内容の紹介

- 01 弱視の基本的な知識
- 02 環境設定、授業・学校生活での配慮のポイント
- 03 弱視児童生徒の自立活動
- 04 視覚支援機器について



視聴者アンケートより（一部抜粋）

- ・環境設定、授業での配慮は、視覚障害だけでなく、必要に応じて配慮できる工夫であると思いました。実態に応じた配慮が効果的に行えるように工夫したいと思います。
- ・弱視により、情報不足、概念の形成やコミュニケーションの難しさなどを抱える児童が多く、それぞれに着目した自立活動を取り入れていきたいと思います。
- ・自分自身の弱視についての理解だけでなく、弱視児童について周囲の理解を深めるための児童への声掛けのヒントになることもあり、とても良い学びとなりました。
- ・基礎的な支援に関することだけでなく、生徒の将来を見据えた指導を意識されていることを強く感じました。個々の状態や工夫、本人の気持ちなど様々で、自立活動の重要性を再確認できました。

10月中旬から「第3回弱視教育指導者研修会 後期オンデマンド講座」として、自立活動の指導や各教科の指導について、配信予定です。ぜひ、こちらもご視聴ください。